

日本文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 semester	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
日本文学概論	日本近現代文芸の世界	2	仁平 政人	3	前期 金曜日 3講時	国文学概論
日本文学概論	王朝物語文学の世界	2	横溝 博	4	後期 金曜日 3講時	国文学概論
日本文学基礎講読	『平家物語』を読む	2	佐倉 由泰	3	前期 金曜日 2講時	国文学基礎講読
日本文学基礎講読	芥川龍之介の歴史小説を読む	2	仁平 政人	4	後期 金曜日 2講時	国文学基礎講読
日本文学各論	『源氏物語』の成立と展開	2	横溝 博	5	前期 月曜日 2講時	国文学各論
日本文学各論	平泉文化をめぐる文学	2	佐倉 由泰	6	後期 火曜日 2講時	国文学各論
日本文学各論	1920年代文学の諸問題	2	仁平 政人	6	後期 月曜日 2講時	国文学各論
日本文学各論	長明・無住・兼好の思想と文学	2	土屋 有里子	集中(5)	集中講義	国文学各論
日本文学各論	日本近代詩におけるモダニズムと昭和期のロマン主義	2	野坂 昭雄	集中	集中講義	国文学各論
日本文学演習	『曾我物語』、『義経記』の研究	2	佐倉 由泰	5	前期 木曜日 2講時	国文学演習
日本文学演習	『曾我物語』、『義経記』の研究	2	佐倉 由泰	6	後期 木曜日 2講時	国文学演習
日本文学演習	近現代文学における〈異界〉	2	仁平 政人	5	前期 水曜日 2講時	国文学演習
日本文学演習	近現代文学における〈異界〉	2	仁平 政人	6	後期 水曜日 2講時	国文学演習
日本文学演習	『源氏物語』の研究	2	横溝 博	6	前期 月曜日 4講時	国文学演習
日本文学演習	『源氏物語』の研究	2	横溝 博	6	後期 月曜日 4講時	国文学演習

科目名：日本文学概論／ Japanese Literature (General Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 3 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：仁平 政人

コード：LB35301, 科目ナンバリング：LHM-LIT201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学概論】

1. 授業題目：日本近現代文芸の世界

2. Course Title (授業題目)：Study on Japanese Modern Literature

3. 授業の目的と概要：明治時代から第二次世界大戦中に至るまでの多様な小説を取り上げ、文化的・社会的な文脈を視野に入れて具体的に分析するとともに、テキスト分析の方法や、日本近現代文学の形成過程などについて概説を行う。
毎回の授業の終わりに、授業内容について考えたことや質問を提出してもらおう。次回の授業で、その回答や補足説明も行いながら授業を進める。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this lecture, we will analyze a variety of literary works from the Meiji era to the Showa era, with a view to their cultural and social contexts.

5. 学修の到達目標：(1) 日本の近現代文学について、文化的・社会的な文脈を視野に入れて具体的な分析を行うことをとおして、その多様な特質に関する理解を深める。

(2) 文学テキストを分析する基本的な方法を習得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) To understand the diverse characteristics of modern Japanese literature, including its relationship to cultural and social contexts.

(2) To learn basic methods of analyzing literary texts.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 分析のレッスン —志賀直哉「小僧の神様」
3. 概説：翻訳と日本近代文学の成立
4. 物語論の基礎
5. 樋口一葉「十三夜」①
5. 樋口一葉「十三夜」②
6. 田山花袋「少女病」
7. 志賀直哉「小僧の神様」
8. 芥川龍之介「羅生門」の生成論
9. 横光利一「蠅」
10. 江戸川乱歩「人間椅子」
11. 葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」
12. 宮沢賢治「なめとこ山の熊」
13. 太宰治「魚服記」
14. 岡本かの子「老妓抄」
15. 坂口安吾「真珠」

なお、質問への応答、補足説明などによって、予定通りに進まないことがあります。

8. 成績評価方法：

最終レポート (50%)・授業への出席 50%。毎時間提出するコメント用紙の内容も平常点の一部として加味する。

9. 教科書および参考書：

講義資料として、配布プリントを使用する。参考書等については教室で指示する。

10. 授業時間外学習：授業で取り上げる作品について、事前に精読しておくこと。また、授業を通して関心を持った問題については幅広く参考文献を読むこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：日本文学概論／ Japanese Literature (General Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 3講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：横溝 博

コード：LB45301, 科目ナンバリング：LHM-LIT201J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：国文学概論】

1. 授業題目：王朝物語文学の世界

2. Course Title (授業題目)：World of Ōchō Monogatari: tales of the Heian and Kamakura periods

3. 授業の目的と概要：日本の物語文学はいつ発生し、いつ終息したのか——。本講義では『源氏物語』に代表される王朝物語文学の成立と展開の様相を、物語文学を取り巻く様々な文芸ジャンルとの相関のもとに、種々の作品テキストを取り上げつつ探っていく。王朝物語の時代は平安から室町と長きにわたるが、とりわけ王朝物語という文芸ジャンルが物語作者の存在意義とも絡んで取り沙汰されるようになる院政期から鎌倉中期を中心に、散逸した物語の資料をも重要な手がかりとしながら、物語文学というコンテンツの消長を探っていく。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：When did Japanese narrative literature emerge and when did it end? This lecture will explore the development of the Ōchō Monogatari (tales from the Heian and Kamakura periods), such as the Tale of Genji, by examining various texts of the works, in relation to various literary genres surrounding narrative literature. The era of the dynasty tales extends from Heian to Muromachi. This lecture also explore the fate of narrative literature, using lost stories as clues.

5. 学修の到達目標：(1) 日本の物語文学について、作品もしくはその断片、関連資料の分析を通して、その特質と史的展開に関する理解を深める。

(2) 古典作品を読解・鑑賞するに際しての基本的な知識を習得することで、王朝物語の文化史的意義について把握できるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) To deepen the understanding of the characteristics and historical development of Japanese literature through the analysis of works or fragments thereof and related materials.

(2) By acquiring the basic knowledge for reading and appreciating classical literature, students will be able to understand the cultural historical significance of dynasty stories.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

以下は本講義で扱うトピックスを列挙したものであり、実際の授業の順序もしくは進度とは異なる。

- 01 王朝物語史（現存物語、散逸物語）
- 02 前期物語（竹取物語、うつほ物語、落窪物語、住吉物語）
- 03 源氏物語（補作を含む）
- 04 後期物語（狭衣物語、夜の寝覚、浜松中納言物語）
- 05 院政期物語（海人の刈藻、とりかへばや、有明の別れ）
- 06 歴史物語（大鏡、栄花物語）
- 07 物語評論（無名草子、今鏡）
- 08 物語歌合（物語二百番歌合）
- 09 物語歌集（風葉和歌集）
- 10 中世王朝物語（鎌倉時代）
- 11 中世王朝物語（南北朝時代）
- 12 中世王朝物語（室町時代）
- 13 和歌と物語、歴史と物語、物語と絵画
- 14 物語の作者と読者（六条齋院物語歌合）
- 15 王朝物語の終焉（室町時代物語、お伽草子）

8. 成績評価方法：

学期末に提出するレポート〔50%〕とミニツツペーパー〔50%〕をもって評価する。なお、ミニツツペーパーは毎時間記載して提出するものである。

9. 教科書および参考書：

基本的にはプリントを使って授業を進める。参考書は授業の中で随時紹介する。なお、一度配布した資料は繰り返し使用するので、毎時間用意すること。樋口芳麻呂編『王朝物語秀歌撰(上) 物語二百番歌合・風葉和歌集上』(岩波文庫、1987)、同『王朝物語秀歌撰(下) 風葉和歌集下・源氏物語歌合』(岩波文庫、1989)は本講義のバイブル（但し購入を必須とするものではない）。

10. 授業時間外学習：作品を通読するのは困難としても、王朝物語史に関しては様々な学術書が存在するので、授業で紹介したものも含めて、可能な限り手に取り、概要の把握に努めること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

本講義は第3セメスターから連続して履修することが望ましい。

科目名：日本文学基礎講読／ Japanese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰

コード：LB35201, 科目ナンバリング：LHM-LIT212J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学基礎講読】

1. 授業題目：『平家物語』を読む
2. Course Title (授業題目)：Study on “The Tale of Heike (平家物語 Heike Monogatari)”
3. 授業の目的と概要： 文学表現（古文）を読み解くには何に注意し、何に注目し、どのような手順で考察を進めればよいのかということ、『平家物語』の表現の調査、分析、報告、討議を重ねる中で理解して行く。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will understand how to think about Japanese classical literature by practicing of reading and interpreting “The Tale of Heike (平家物語 Heike Monogatari)” .
5. 学修の到達目標：(1) 変体仮名の文を読み解けるようになる。
(2) 多様な辞書、事典が活用できるようになり、必要な文献も適切に探せるようになる。
(3) 写本の文化を理解し、諸本間の本文の相違に注目して、精度の高い表現の読解ができるようになる。
(4) 作品を発見的に解釈するためには、表現の細部の読解がいかんたいせつかということ考察の実践を通して理解する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students acquire knowledge and ability necessary to think about Japanese classical literature creatively.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
対面授業（半分以上）とリアルタイム型オンライン授業の併用により実施する。
 1. はじめに一文学表現を読み解くために一
 2. 『平家物語』を読むにあたって
 3. 『平家物語』を読むにあたって
 4. 変体仮名を読むために
 5. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 6. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 7. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 8. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 9. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 10. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 11. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 12. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 13. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 14. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 15. まとめ
8. 成績評価方法：
授業時の発表およびレポート [60%]・授業への参加 [40%]
9. 教科書および参考書：
教科書：かな研究会編『実用変体がな』（新典社）
参考書：授業の中で随時紹介する。
10. 授業時間外学習： 授業を通して関心を持った問題について、作品の本文や参考文献を進んで幅広く読んで、考察を深めて行くことが重要である。
また、各回の講読、考察、意見交換の積み重ねの中で適切な段階を踏んで理解を深めて行く必要があり、そのためにも、必ず応分の予習をして毎回の授業に臨んでもらいたい。予習すべき内容については授業の中で説明するので、第1回の授業から出席し、その内容をよく理解すること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：日本文学基礎講読／ Japanese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：仁平 政人

コード：LB45203, 科目ナンバリング：LHM-LIT212J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学基礎講読】

1. 授業題目：芥川龍之介の歴史小説を読む
2. Course Title (授業題目)：Read Akutagawa Ryunosuke's Historical novel
3. 授業の目的と概要：芥川龍之介は、日本の古典文学や歴史的な資料を典拠として、数多くの小説を執筆している（その総称として、この授業では便宜的に「歴史小説」という用語を用いる）。この授業では、芥川の歴史小説について、典拠との関係をはじめとして、多様な観点からの分析を行う。
受講者は担当する作品について、(1) 基本情報、(2) 先行研究の整理、(3) 典拠との比較、(4) 1～3を踏まえた考察、の4点をレジュメにまとめて、報告を行う。報告と質疑応答を通して、作品に対する理解を深めるとともに、近代文学を研究する基本的な手続きと、分析の視点を身につけることが本講読の目的である。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Starting with "Rashomon" (1915), Ryunosuke AKUTAGAWA wrote many novels dealing with classical Japanese literature (As a general term, the term "historical novel" is used for convenience in this class.). In this class, we analyze Akutagawa's historical novels from various perspectives, including the relationship with the original.
Students report by summarizing the following four points: (1) review basic information, (2) overview of previous research, (3) comparison with the original text, and (4) consideration based on 1～3. The purpose of this class is to deepen the understanding of the works through reports and questions and answers, and to acquire the basic procedures for studying modern literature and the perspective of analysis.
5. 学修の到達目標：(1) 本文の異同の確認や文献の収集、コンテキストに関する調査など、近代文学研究の基本的な手続きを実践的に学ぶ。
(2) 近現代文学の特性について理解を深め、小説を分析する視点を養う。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1)To learn practically the basic procedures of modern literature research, such as the identification of differences in texts, the collection of literature, and the investigation of contexts.
(2)To deepen the understanding of the characteristics of modern and contemporary literature and cultivate the perspective of analyzing novels.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
*この授業はオンラインで実施します。
 1. ガイダンス
 2. ガイダンス② 分析のレッスンー「鼻」ー
 3. 担当者による口頭発表と討論
 4. 担当者による口頭発表と討論
 5. 担当者による口頭発表と討論
 6. 担当者による口頭発表と討論
 7. 担当者による口頭発表と討論
 8. 担当者による口頭発表と討論
 9. 担当者による口頭発表と討論
 10. 担当者による口頭発表と討論
 11. 担当者による口頭発表と討論
 12. 担当者による口頭発表と討論
 13. 担当者による口頭発表と討論
 14. 担当者による口頭発表と討論
 15. 担当者による口頭発表と討論
8. 成績評価方法：
授業における発表とレポート (60%)、授業への積極的参加 (40%)
9. 教科書および参考書：
講義資料として、配布プリントを使用する。その他の関連文献は授業中に適宜紹介する。
10. 授業時間外学習：授業で取り上げる作品を受講者全員が事前に精読しておくこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：日本文学各論／ Japanese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期 月曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：横溝 博

コード：LB51202, 科目ナンバリング：LHM-LIT301J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学各論】

1. 授業題目：『源氏物語』の成立と展開
2. Course Title (授業題目)：Establishment and Development of "The Tale of Genji"
3. 授業の目的と概要：『源氏物語』現五十四帖がいかんして構成されているか、成立の問題、巻序の問題をはじめ、散逸した巻（「桜人」「狭筵」「巢守」さらには「輝く日の宮」）についての『源氏釈』『奥入』等の記述を検証する。「輝く日の宮」の巻は存在したのか。また、定家本・河内本成立の過程と意義、別本の価値をも含めた諸本（写本群）についても考察する。『源氏物語』の初期の注釈書や梗概書、系図等にも目配りし、『山路の露』『雲隠六帖』といった補作、さらには平安～鎌倉・室町時代の物語作品における『源氏物語』受容の痕跡をも手がかりとして、平安から中世にかけて、どのような『源氏物語』テキストが流通していたのかを探る。その際、古筆切等、新発見の資料にも目配りしたい。文字テキスト以外に、院政期の『源氏物語絵巻』を、詞書とともに DVD で鑑賞する。復元プロジェクトによって、平安絵師の仕掛けた謎が現代に明らかとなるのか——。このような検証、思考を通して、広く「〈源氏物語〉とは何か」、を考えていくことを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We will examine how the "Genji Monogatari" is composed, the problem of establishment, the problem of the volume, and the description of the old commentary on the dissipated volume.
Furthermore, we will explore what kind of "Genji Monogatari" texts were in circulation from the Heian period to the Middle Ages, using supplementary works such as "Yamaji no Tsuyu" (sequel of The Tale of Genji) and Kumogakure Rokujo (Genji's demise: six chapters). In addition, we will watch "Genji Monogatari Emaki" on DVD.
Through such verification and thinking, we will think about "what is the Genji story".
5. 学修の到達目標：『源氏物語』の成立と展開、流布と継承、受容および享受の問題を広く学ぶことで、(1)『源氏物語』をめぐる文化の諸現象に対する理解を深め、(2)『源氏物語』を独力で鑑賞し、(3)テキストを批判的に読み解くための基本的な知識を身につける。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：By broadly studying the issues of establishment and development, dissemination and inheritance, acceptance and enjoyment of "Genji Monogatari", (1) deepening the understanding of various cultural phenomena surrounding "Genji Monogatari", (2) appreciating the works, and (3) acquire the basic knowledge to read the text critically.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 01. ガイダンス。講義資料の事前配付。参考文献の紹介。
 02. 『源氏物語』の諸本の異同について。「桐壺」巻を例に考える。
 03. 「幻」巻の異文。ミセケチをめぐる『原中最秘抄』の諸説。
 04. 「柏木」巻の表現と国宝『源氏物語絵巻』の詞書。柏木像の後代への影響。
 05. 「桜人」について。『源氏釈』の逸文から復原する。
 06. 「かかやく日の宮」と並びの巻について。『奥入』の記述から考える。
 07. 藤原定家の『源氏物語』蒐書活動と書写活動。『奥入』と『明月記』紙背から考える。
 08. 「巢守」について (1)。『源氏物語古系図』から復原する。
 09. 「巢守」について (2)。「古筆断簡』『風葉和歌集』から復原する。
 10. 『源氏物語』の構成について。『源氏物語』は五十四帖か。六十巻説、三十七帖説を考える。
 11. 『山路の露』について。補作の試みもしくは『雲隠六帖』。
 12. 『山路の露』を読む (1)。「序文」を読む。
 13. 『山路の露』を読む (2)。薫と浮舟の再会場面を読む。
 14. 『山路の露』を読む (3)。浮舟と手習歌。
 15. 『山路の露』を読む (4)。物語としての独自性。
8. 成績評価方法：

レポート (期末) の内容 [50%]、毎時間提出するミニツツペーパーの内容 [50%]。
9. 教科書および参考書：

【教科書】『源氏物語補作 山路の露・雲隠六帖 他二篇』(今西祐一郎編注、岩波文庫、2022 年)
その他はすべてプリントを用いる。毎時間用意すること。参考文献は随時紹介する。
10. 授業時間外学習：復習に力を入れること。『山路の露』については、授業で読む箇所以外についても、自分で読み進め、内容把握に努めること。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：

二年生でも関心のある人は単位にかかわらず受講されたい。

科目名：日本文学各論／ Japanese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰

コード：LB62202, 科目ナンバリング：LHM-LIT301J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：国文学各論】

1. 授業題目：平泉文化をめぐる文学

2. Course Title (授業題目)：Study on literature about the culture of Hiraizumi

3. 授業の目的と概要： 11・12世紀の奥羽にかかわる文学作品の表現を丁寧に読み解き、平泉文化をめぐる歴史を考える中で、それぞれの作品の特質と、平泉文化の本質と意義を明らかにして行く。毎回の授業の終わりに、授業内容について、考えたこと、関心を持ったことを書いてもらい（これを「小レポート」と呼ぶ）、その回答も交えて、できるだけ対話的に授業を進めて行こうと思っている。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will clarify the characteristics of individual expressions in literary works related to the Tohoku region in the 11th and 12th centuries, and position the significance of their expressions widely in the history of culture and society.

5. 学修の到達目標：(1) 表現の細部を丁寧に捉えて、時代相、世相や筆者の世界観、人間観、社会認識を幅広く深く理解できるように読解力、洞察力を身につける。

(2) 文学、文化、社会を思考する上での問題発見力と専門的知識を高める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students acquire knowledge and ability necessary to think about literature, culture and society creatively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業は次の順に進める（同一テーマで複数回の授業を行う場合を含む）

- 1 はじめに—十一・十二世紀の奥羽世界—
- 2 『陸奥話記』と安倍氏
- 3 『陸奥話記』と源頼義
- 4 『陸奥話記』と清原武則
- 5 『陸奥話記』と厨川の戦い
- 6 『陸奥話記』と前九年合戦
- 7 『奥州後三年記』と清原氏
- 8 『奥州後三年記』と源義家
- 9 『奥州後三年記』と金沢の柵の戦い
- 10 『奥州後三年記』と後三年合戦
- 11 説話集・往生伝と藤原清衡
- 12 『吾妻鏡』所載「寺塔已下注文」と奥州藤原氏
- 13 『中尊寺供養願文』と藤原清衡

8. 成績評価方法：

学期末に提出してもらうレポート [60%]・小レポート [40%]

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを使って授業を進める。参考書は、授業の中で随時紹介する。

10. 授業時間外学習： 授業を通して関心を持った問題について、作品の本文や参考文献を進んで幅広く読んで、考察を深めて行くことが重要である。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：日本文学各論／ Japanese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：後期 月曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：仁平 政人

コード：LB61201, 科目ナンバリング：LHM-LIT301J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学各論】

1. 授業題目：1920 年代文学の諸問題

2. Course Title (授業題目)：Study on Japanese modernist literature

3. 授業の目的と概要：本講義では、大正末～昭和初期にあたる 1920 年代の文学を対象とする。1923 年の関東大震災とその後の急速な復興をふくめて、この時代は、都市化や消費社会の進展、映画・ラジオといった新しいメディアの台頭、女性の社会進出、労働運動の激化など、社会・文化の大きな変動期であった。本講義では、こうした時代状況に向き合いながら、表現の可能性を追求していった作家達の試みを取り上げ、多面的な分析を通して、その特性と意義を探究する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This lecture focuses on Japanese literature of the 1920s, a period of great social and cultural change that included the Great Kanto Earthquake of 1923 and the rapid reconstruction that followed, urbanization and the development of a consumer society, the rise of new media such as movies and radio, the advance of women into society, and the intensification of labor movements. In this lecture, we will focus on the attempts of artists who pursued the possibilities of expression while confronting the conditions of the times, and explore their characteristics and significance through a multifaceted analysis.

5. 学修の到達目標：文学テキストを、社会的・文化的なコンテクストとの関わりを視野に入れて多面的に読み解く能力を養い、近現代文学の特性や意義について理解を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：To cultivate the ability to read and understand literary texts in a multifaceted manner, taking into consideration their relationship with social and cultural contexts, and to deepen the understanding of the characteristics and significance of modern literature.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業は次の順に進める。

1. ガイダンス
2. 概説・大正期文学の諸相
3. 関東大震災と文学①
4. 関東大震災と文学②
5. 「新感覚派」の始発① 一横光利一
6. 「新感覚派」の始発② 一川端康成
7. 「心」を捉え直すー精神分析・心霊学と文学ー①
8. 「心」を捉え直すー精神分析・心霊学と文学ー②
9. 映像メディアと文学の交通
10. プロレタリア文学の諸問題①
11. プロレタリア文学の諸問題②
12. 都市小説のモダニティ①
13. 都市小説のモダニティ②
14. 都市小説のモダニティ③
15. まとめ

8. 成績評価方法：

最終レポート (50%)、平常点 (コメントペーパーなど) 50%。

9. 教科書および参考書：

講義資料として、配布プリントを使用する。参考書等については教室で指示する。

10. 授業時間外学習：授業で取り上げる作品を事前に精読しておくこと。また、授業を通して関心を持った問題については幅広く参考文献を読み、考察を深めること。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：日本文学各論／ Japanese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：第1学期集中 単位数：2

担当教員：土屋 有里子

コード：LB98805, 科目ナンバリング：LHM-LIT301J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：国文学各論】

1. 授業題目：長明・無住・兼好の思想と文学

2. Course Title (授業題目)：Philosophy and Literature of Chomei, Muju, and Kenko

3. 授業の目的と概要：鴨長明、無住道暁、兼好法師はそれぞれ、『方丈記』、『沙石集』、『徒然草』の著者として名高い。本授業ではまず三者の作品を通してその生涯と思想をとらえ、後半ではテーマを設定し、三者の共通点と差異から中世文学への理解を深めるものとする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Kamo no Chomei, Muju Dogyo, and Kenko Hoshi are famous as the authors of "Hojoki," "Shasekishu," and "Tsurezuregusa," respectively. In this class, we will first look at the lives and thoughts of these three authors through their works, and then, by setting a theme, we will deepen our understanding of medieval literature through the similarities and differences among them.

5. 学修の到達目標：・中世文学を読解するために必要な言葉や仏教的知識について、基本的なことを習得する。

・説話文学の特質と意義について理解する。

・文学を基点として、中世の歴史や宗教、文化的事象について興味をもち知識を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：・The course is designed to provide students with a basic understanding of the language and Buddhist knowledge necessary to read and understand medieval literature.

・Students will acquire a basic understanding of the characteristics and significance of medieval literature.

・Students will deepen their interest in and knowledge of medieval history, religion, and cultural events using literature as a starting point.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

01. ガイダンス、随筆と説話集について
02. 鴨長明の生涯と思想1
03. 鴨長明の生涯と思想2
04. 鴨長明を読む1－『方丈記』
05. 鴨長明を読む2－『発心集』、『無名抄』
06. 無住道暁の生涯
07. 無住道暁と日宋間僧侶ネットワーク
08. 無住道暁を読む－『沙石集』、『雑談集』
09. 兼好法師の生涯と思想
10. 兼好法師を読む－『徒然草』
11. 長明・無住・兼好1－住处への執着
12. 長明・無住・兼好2－女性観
13. 長明・無住・兼好3－和歌
14. 長明・無住・兼好4－老いと死を考える
15. まとめと理解度の確認

8. 成績評価方法：

・授業への参加態度と、授業中数回提出を求める小レポート（40%）

・授業の最後に課す確認テスト（60%）

9. 教科書および参考書：

・教科書：使用せずプリントを配布する。

・参考書：

- ① 浅見和彦校訂・訳『方丈記』（ちくま学芸文庫 2011）
- ② 浅見和彦・伊東玉美訳注『新版 発心集』上・下（角川ソフィア文庫 2014）
- ③ 土屋有里子『『沙石集』の世界』（株式会社あるむ 2022）
- ④ 小川剛生訳注『新版 徒然草』（角川ソフィア文庫 2015）

10. 授業時間外学習：授業の復習に毎回1時間程度。授業で扱う作品を自主的に読むことが必要である。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：日本文学各論／ Japanese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中 単位数：2

担当教員：野坂 昭雄

コード：LB98806, 科目ナンバリング：LHM-LIT301J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：国文学各論】

1. 授業題目：日本近代詩におけるモダニズムと昭和期のロマン主義
2. Course Title (授業題目)：Modernism and Showa Romanticism in modern Japanese poetry
3. 授業の目的と概要：本授業の目的は、特に詩の観点からモダニズムと昭和期のロマン主義（日本浪漫派）の接点を探り、複雑な諸相を持つ昭和戦前期の文学的状况を理解することです。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this class is to explore the connection between modernism and Showa era romanticism (Japan Romantic School), especially from the perspective of modern poetry, and to understand the complicated literary situation of Showa prewar period.
5. 学修の到達目標：①モダニズムおよび昭和期のロマン主義に関する基礎的知識を持っている
②授業を通して得られた観点から各自の文学的問題を考えることができる
6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) To have basic knowledge on modernism and Showa era romanticism
(2) To be able to think one's literary concerns through the perspectives this lecture showed
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 概説／近代詩の展開
 2. 近代と都市文化の発展
 3. 探偵小説の発生
 4. ソシユール言語学とノイズ
 5. ダダイスムとシュルレアリスム
 6. モダニズムにおける主体性の消去
 7. 詩というメディアの特質
 8. 日本におけるロマン主義
 9. 「日本への回帰」と故郷
 10. 日本浪漫派と保田與重郎
 11. 日本浪漫派における〈詩〉
 12. 昭和期の抒情詩の展開
 13. 自然とイロニー・技術
 14. 戦争詩の評価
 15. まとめ
8. 成績評価方法：

最終レポート（60%）・授業への取り組み（コメントペーパーの内容含む、40%）
9. 教科書および参考書：

教科書は用いず、プリントを配布します。参考文献は授業中に適宜指示します。
10. 授業時間外学習：指示があった場合は、作品等を事前に精読しておいてください。
また、自分の関心と講義の内容とを結びつけて考える時間を持ってください。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

なし

科目名：日本文学演習／ Japanese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰

コード：LB54207, 科目ナンバリング：LHM-LIT317J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学演習】

1. 授業題目：『曾我物語』、『義経記』の研究
2. Course Title (授業題目)：Study on “Soga Monogatari” and “Gikeiki”
3. 授業の目的と概要： 文学、文化、社会を発見的に考究するためには何に注目し、どのような段階を踏んで思考を進めればよいのかということ、『曾我物語』と『義経記』についての考察の実践を通して理解して行く。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this course, students will understand what to think creatively about literature, culture and society by practicing the study on Soga Monogatari and Gikeiki.
5. 学修の到達目標： 文学、文化、社会について、発見的に思考し、語るための読解力、分析力、専門的知識、表現力を高める。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students acquire knowledge and ability necessary to think about literature, culture and society creatively.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 2. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 3. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 4. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 5. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 6. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 7. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 8. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 9. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 10. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 11. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 12. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 13. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 14. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 15. 考察発表とそれにもとづく意見交換
8. 成績評価方法：

授業時の発表およびレポート [60%]・授業への参加 [40%]
9. 教科書および参考書：

テキストは、特に指定しない。参考書は、授業時に随時紹介する。
10. 授業時間外学習： 各回で考察対象となる物語の記述をあらかじめよく読んで授業に臨むこと。また、授業を通して関心を持った問題について、作品の本文や参考文献を進んで幅広く読んで、考察を深めて行くことが重要である。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

本演習（『曾我物語』、『義経記』の研究）は、第6セメスターも連続して履修すること。

科目名：日本文学演習／ Japanese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰

コード：LB64205, 科目ナンバリング：LHM-LIT317J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学演習】

1. 授業題目：『曾我物語』、『義経記』の研究
2. Course Title (授業題目)：Study on “Soga Monogatari” and “Gikeiki”
3. 授業の目的と概要： 文学、文化、社会を発見的に考究するためには何に注目し、どのような段階を踏んで思考を進めればよいのかということ、『曾我物語』と『義経記』についての考察の実践を通して理解して行く。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this course, students will understand what to think creatively about literature, culture and society by practicing the study on Soga Monogatari and Gikeiki.
5. 学修の到達目標： 文学、文化、社会について、発見的に思考し、語るための読解力、分析力、専門的知識、表現力を高める。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students acquire knowledge and ability necessary to think about literature, culture and society creatively.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 2. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 3. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 4. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 5. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 6. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 7. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 8. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 9. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 10. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 11. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 12. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 13. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 14. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 15. 考察発表とそれにもとづく意見交換
8. 成績評価方法：

授業時の発表およびレポート [60%]・授業への参加 [40%]
9. 教科書および参考書：

テキストは、特に指定しない。参考書は、授業時に随時紹介する。
10. 授業時間外学習： 各回で考察対象となる物語の記述をあらかじめよく読んで授業に臨むこと。また、授業を通して関心を持った問題について、作品の本文や参考文献を進んで幅広く読んで、考察を深めて行くことが重要である。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

本演習（『曾我物語』、『義経記』の研究）は、第5セメスターから連続して履修すること。

科目名：日本文学演習／ Japanese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：仁平 政人

コード：LB53205, 科目ナンバリング：LHM-LIT317J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学演習】

1. 授業題目：近現代文学における〈異界〉

2. Course Title (授業題目)：Study on "Alien world" in Japanese Modern Literature

3. 授業の目的と概要：本演習は、明治期から近年にいたる多様な小説について、〈異界〉という概念を手がかりに、多様な社会的・文化的コンテクストを視野に入れて分析を行うことを目的とする。

受講者は、担当する作品についての分析の結果を資料に基づいて発表する。発表内容を踏まえた全体での討論をとおして、小説の精緻な読解を試みる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this exercise is to analyze various novels written from the Meiji period to recent years, taking into account various social and cultural contexts, based on the concept of <alien world>.

Students present the results of their analysis of literary works. We try to read the novel in detail through the discussion based on the presentation.

5. 学修の到達目標：(1) 文学作品の分析と立論、発表の方法を習得する。

(2) 戦後における文学の多様な展開とその特質について理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) To learn how to analyze, present and present literary works.

(2) To deepen students' understanding of the diverse developments and characteristics of literature after the war.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. ガイダンス 2

3. 担当者による口頭発表と討論

4. 担当者による口頭発表と討論

5. 担当者による口頭発表と討論

6. 担当者による口頭発表と討論

7. 担当者による口頭発表と討論

8. 担当者による口頭発表と討論

9. 担当者による口頭発表と討論

10. 担当者による口頭発表と討論

11. 担当者による口頭発表と討論

12. 担当者による口頭発表と討論

13. 担当者による口頭発表と討論

14. 担当者による口頭発表と討論

15. 担当者による口頭発表と討論

8. 成績評価方法：

授業における発表とレポート (70%)、授業への積極的参加 (30%)

9. 教科書および参考書：

教室で指示する。

10. 授業時間外学習：授業で取り上げる作品を受講者全員が事前に精読しておくこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

本演習は第 6 セメスターも連続して履修すること。

科目名：日本文学演習／ Japanese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：仁平 政人

コード：LB63206, 科目ナンバリング：LHM-LIT317J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：国文学演習】

1. 授業題目：近現代文学における〈異界〉
2. Course Title (授業題目)：Study on "Alien world" in Japanese Modern Literature
3. 授業の目的と概要：本演習は、明治期から近年にいたる多様な小説について、〈異界〉という概念を手がかりに、多様な社会的・文化的コンテクストを視野に入れて分析を行うことを目的とする。
受講者は、担当する作品についての分析の結果を資料に基づいて発表する。発表内容を踏まえた全体での討論をとおして、小説の精緻な読解を試みる。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this exercise is to analyze various novels written from the Meiji period to recent years, taking into account various social and cultural contexts, based on the concept of <alien world>. Students present the results of their analysis of literary works. We try to read the novel in detail through the discussion based on the presentation.
5. 学修の到達目標：(1) 文学作品の分析と立論、発表の方法を習得する。
(2) 戦後における文学の多様な展開とその特質について理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) To learn how to analyze, present and present literary works.
(2) To deepen students' understanding of the diverse developments and characteristics of literature after the war.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. ガイダンス
 2. ガイダンス2
 3. 担当者による口頭発表と討論
 4. 担当者による口頭発表と討論
 5. 担当者による口頭発表と討論
 6. 担当者による口頭発表と討論
 7. 担当者による口頭発表と討論
 8. 担当者による口頭発表と討論
 9. 担当者による口頭発表と討論
 10. 担当者による口頭発表と討論
 11. 担当者による口頭発表と討論
 12. 担当者による口頭発表と討論
 13. 担当者による口頭発表と討論
 14. 担当者による口頭発表と討論
 15. 担当者による口頭発表と討論
8. 成績評価方法：
授業における発表とレポート (70%)、授業への積極的参加 (30%)
9. 教科書および参考書：
教室で指示する。
10. 授業時間外学習：授業で取り上げる作品を受講者全員が事前に精読しておくこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：
本演習は第5セメスターから連続して履修すること。

科目名：日本文学演習／ Japanese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：横溝 博

コード：LB51401, 科目ナンバリング：LHM-LIT317J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学演習】

1. 授業題目：『源氏物語』の研究

2. Course Title (授業題目) : Study of "The Tale of Genji"

3. 授業の目的と概要：『源氏物語』「玉鬘」巻を輪読する。担当者は割り当てられた範囲の【梗概】および【考察】をレジュメとしてまとめ、それを資料として用意し、事前に配布した上で発表する。発表者が提起した問題点について、参加者全員で検討を加え、ブラッシュアップしていくことで、物語の読解力を高めていくことを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : In this class, you will read the volume captioned 'Tamakazura' in Genji Monogatari. The person in charge summarizes the [abstract] and [consideration] of the assigned range as a resume, prepares it as a material, distributes it in advance, and announces it. The aim is to improve the reading comprehension of the story by reviewing and brushing up the issues raised by the presenters with all participants.

5. 学修の到達目標：『源氏物語』「玉鬘」巻を精読することで、(1) 物語の虚構の方法や人物造型のありよう、語り、和歌を含めた表現の様式、物語の構造等について理解を深める。(2) 諸注釈、各種辞典(事典)類の活用の仕方を学び、作品読解に関わる基本的な知識を習得する。以上を通して、物語を「読む」力を高めることで、課題に研究的に取り組むための基本的な知識と技能を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : By carefully reading "Genji Monogatari" (Tamakazura Chapter), students will deepen your understanding of the fictional method of the story, the way the figure is modeled, the style of expression including narrative and waka poems, and the structure of the story. Learn how to use various annotations and various dictionaries, and acquire basic knowledge related to reading comprehension of works. Through the above, by improving the ability to "read" the story, students will acquire the basic knowledge and skills to tackle the problem researchfully.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス (発表者及びローテーション決定)
2. 講義 (「玉鬘」巻までの物語の流れ、第一部の構成、物語の人物について)
3. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
4. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
5. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
6. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
7. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
8. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
9. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
10. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
11. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
12. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
13. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
14. 「玉鬘」巻の自由発表×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
15. 「玉鬘」巻の自由発表×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ

8. 成績評価方法：

授業時の発表および期末レポート (発表のまとめ) の内容 [60%]、授業への参加 (質疑応答を含む) [40%]

9. 教科書および参考書：

【テキスト】岩波文庫『源氏物語 (四) 玉鬘～真木柱』(岩波書店、2018 年)を用いるので、大学生協等で購入のこと。

【参考書】中野幸一編『〈新装版〉常用 源氏物語要覧』（武蔵野書院、2012年）がある。その他、参考文献は随時紹介する。

10. 授業時間外学習：毎回の輪読箇所が決まっている上、資料が事前に配布されているので、参加者はあらかじめ該当範囲を読み込んでおき、発表内容について自分なりに疑問点や質問事項を準備しておいた上で、授業に臨むこと。授業での質疑応答はディスカッションやコメントのトレーニングとなるよう期している。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

- ・本演習は、第6セメスターも続けて履修すること。
- ・物語の展開を先取りせず、物語の筋をたどりながら読むことの面白さや発見、興味を大事にしていく。

科目名：日本文学演習／ Japanese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：横溝 博

コード：LB61401, 科目ナンバリング：LHM-LIT317J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：国文学演習】

1. 授業題目：『源氏物語』の研究

2. Course Title (授業題目) : Study of "The Tale of Genji"

3. 授業の目的と概要：『源氏物語』「真木柱」巻を輪読する。担当者は割り当てられた範囲の【梗概】および【考察】をレジュメとしてまとめ、それを資料として用意し、事前に配布した上で発表する。発表者が提起した問題点について、参加者全員で検討を加え、ブラッシュアップしていくことで、物語の読解力を高めていくことを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : In this class, you will read the volume captioned 'Makibashira' in Genji Monogatari. The person in charge summarizes the [abstract] and [consideration] of the assigned range as a resume, prepares it as a material, distributes it in advance, and announces it. The aim is to improve the reading comprehension of the story by reviewing and brushing up the issues raised by the presenters with all participants.

5. 学修の到達目標：『源氏物語』「真木柱」巻を精読することで、(1) 物語の虚構の方法や人物造型のありよう、語り、和歌を含めた表現の様式、物語の構造等について理解を深める。(2) 諸注釈、各種辞典(事典)類の活用の仕方を学び、作品読解に関わる基本的な知識を習得する。以上を通して、物語を「読む」力を高めることで、課題に研究的に取り組むための基本的な知識と技能を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : By carefully reading "Genji Monogatari" (Makibashira Chapter), students will deepen your understanding of the fictional method of the story, the way the figure is modeled, the style of expression including narrative and waka poems, and the structure of the story. Learn how to use various annotations and various dictionaries, and acquire basic knowledge related to reading comprehension of works. Through the above, by improving the ability to "read" the story, students will acquire the basic knowledge and skills to tackle the problem researchfully.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス (発表者及びローテーション決定)
2. 講義 (「真木柱」巻までの物語の流れ、第一部の構成、物語の人物について)
3. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
4. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
5. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
6. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
7. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
8. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
9. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
10. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
11. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
12. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
13. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
14. 「真木柱」巻の自由発表×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
15. 「真木柱」巻の自由発表×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ

8. 成績評価方法：

授業時の発表および期末レポート (発表のまとめ) の内容 [60%]、授業への参加 (質疑応答を含む) [40%]

9. 教科書および参考書：

【テキスト】岩波文庫『源氏物語 (四) 玉鬘～真木柱』(岩波書店、2018 年)を用いるので、大学生協等で購入のこと。

【参考書】中野幸一編『〈新装版〉常用 源氏物語要覧』（武蔵野書院、2012年）がある。その他、参考文献は随時紹介する。

10. **授業時間外学習**：毎回の輪読箇所が決まっている上、資料が事前に配布されているので、参加者はあらかじめ該当範囲を読み込んでおき、発表内容について自分なりに疑問点や質問事項を準備しておいた上で、授業に臨むこと。授業での質疑応答はディスカッションやコメントのトレーニングとなるよう期している。

11. **実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、**実務・実践的授業**であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. **その他**：

- ・本演習は、第5セメスターから続けて履修すること。
- ・物語の展開を先取りせず、物語の筋をたどりながら読むことの面白さや発見、興味を大事にしていく。